

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年 3月25日

鹿児島竜谷学園幼保連携型認定こども園鴨池幼稚園

1 本園の目指す子どもの姿

- ・御仏様を拝む子ども
- ・感謝のころをもつ子ども
- ・良く聞き、考える子ども
- ・友だちと助け合い、仲良くする子ども

2 本年度重点的に取り組む事項

まことの保育を実践し、一人一人の子どもを大切にしたい質の高い教育実践を目指す。

3 評価事項の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	まことの保育を推進し、心豊かな子どもの育成を図る	A	まことの保育の計画的・形成的研修に努め、個々の教職員の資質向上と実践力の育成に努めた。
2	教育保育の質の向上を図るために園内研修の充実を図る	A	外部講師の招へいやテーマを設定しての研修に努め、意欲的に研修に取り組むことが出来た。
3	地域や保護者との連携を図り、地域に信頼される園づくりを進める	B	感染症対策を講じ、工夫を凝らしながらこれまで培った交流と信頼の維持に努めた。

評価 (A・・・十分に成果があった。B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果はなかった)

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>コロナウイルス感染症拡大の中でも、十分な対策を講じながら子どもたち一人一人を大切にしたい質の高い教育保育の提供に努めてきた。また、研究テーマを「主体的、対話的で深い学びの姿をめざす教育保育のありかた」として、研究を重ねてきた。さらに、カリキュラムマネジメントと学校評価との関連について、園全体で研究実践に取り組むことのできる体制を整え、県教育課程研究会でその成果を発表することができた。今後、更に研修と修養に努めることで職員の資質向上を図り、園の活性化をめざしていきたい。</p>

評価 (A・・・十分に成果があった。B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果はなかった)

5 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取組方法
1	健康安全	園児が安心して過ごせる園環境を構築するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。
2	組織の活性化	職位に応じた職責感と職務遂行能力を育成し、園の総合力を高める。
3	研修の充実	「子どもの発達連続性を踏まえた指導や評価のあり方」をテーマに研修を進めることで職員の指導力の向上をめざす。

6 学校関係者評価委員会の総合評価

令和2年度においては、コロナ禍という特殊な状況の中で感染予防を徹底しながらの園運営は大変だったことと思う。令和3年度も難しいかじ取りとなると思うが、園長を中心に園児が楽しく、安全に過ごせる運営をお願いしたい。また、令和3年度グランドデザインが円滑に実践できるように、全職員で課題を共有し、トップダウンとボトムアップのバランスをとりながら「まことの保育」の実現に努めてほしい。

子どもたちの安全を考慮しながら各行事等の実施に努めてくださった園の努力に感謝したい。